

3 月

新着本の紹介



青字は児童書

| 書名 | 著者名 | 内容 |
|----------------------|------------------------|--|
| 星を掬う | 町田 そのこ | 千鶴が夫から逃げるために向かった「さざめきハイツ」には、自分を捨てた母・聖子がいた。他の同居人は、娘に捨てられた彩子と、聖子を「母」と呼び慕う恵真。4人の共同生活は、思わぬ気づきと変化を迎え…。2021年本屋大賞受賞後第1作目は、すれ違う母と娘の物語。 |
| 正欲 | 朝井リョウ | 【柴田錬三郎賞(第34回)】生き延びるために、手を組みませんかー。いびつで孤独な魂が奇跡のように巡り遭い…。共感を呼ぶ傑作か？目を背けたい問題作か？朝井リョウの作家生活10周年を記念した書下ろし長篇小説。 |
| 六人の嘘つきな大学生 | 浅倉秋成 | 成長著しいIT企業の最終選考。最後に残った6人に出された課題は、「1人の内定者を6人で決めること」。そんな中、6人それぞれの「罪」が告発された6通の封筒が発見される。彼らの嘘と罪とは。そして「犯人」の目的は…。 |
| 残月記 | 小田雅久仁 | 近未来の日本、悪名高き独裁政治下。世を震撼させている感染症「月昂」に冒された男の宿命と、その傍らでひっそりと生きる女との一途な愛を描ききった表題作ほか、二作収録。「月」をモチーフに、著者の底知れぬ想像力が構築した異世界。足を踏み入れたら最後、イメージの渦に呑み込まれ、もう現実には戻れない——。最も新刊が待たれた作家、飛躍の一作 |
| ブラックボックス | 砂川 文次 | もっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている 自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。 自衛隊を辞め、いまは自転車便メッセンジャーの仕事に就いているサクマは、都内を今日もひた走る。 昼間走る街並みやそこかしこにあるであろう倉庫やオフィス、夜の生活の営み、どれもこれもが明け透けに見えるようで見えない。張りぼての向こう側に広がっているかもしれない実相に触れることはできない。 |
| 六つの村を越えて 髭をなびかせる者 | 西條 奈加 | 本当のアイヌの姿を、世に知らしめたい——時は江戸中期、老中・田沼意次が実権を握り、改革を進めていた頃。幕府ではロシアの南下に対する備えや交易の促進などを目的に、蝦夷地開発が計画されていた。出羽国の貧しい農家に生まれながら、算学の才能に恵まれた最上徳内は、師の本多利明の計らいで蝦夷地見分隊に随行する。そこで徳内が目にしたのは厳しくも美しい北の大地と、和人とは異なる文化の中で逞しく生きるアイヌの姿だった。イタクニップ、少年フルウらとの出会いを通して、いつしか徳内の胸にはアイヌへの尊敬と友愛が生まれていく… …。松前藩との確執、幕府の思惑、自然の脅威、様々な困難にぶつかりながら、それでも北の大地へと向かった男を描いた著者渾身の長編小説！ |
| 桜風堂夢ものがたり | 村山早紀 | 桜風堂書店のある桜野町に続く道。そこには不思議な奇跡が起こる噂があった。田舎町の書店を舞台とした感動の物語。シリーズ最新作 |
| はじめての | 島本理生/辻村深月 宮部みゆき/森絵都 | 「はじめて」は、いつも痛くて、少し優しい——。 日本エンターテインメントの最前線&最高峰！ 文芸の最前線で活躍する4人の直木賞作家が、“小説を音楽にする”ユニットYOASOBIとコラボレーションし、小説、音楽、映像など、さまざまなジャンルで作品を展開しながら物語世界をつくりあげていく、壮大なプロジェクトが始まりました。 小説のテーマは、「はじめて〇〇したときに読む物語」。 |
| 0 zero | 堂場 瞬一 | 「私は嘘つきだ。そして人殺しだ。」ベストセラー作家・岩佐友が死去した。彼は生前、周囲に「すごい原稿がある」と漏らしていた。ほとんど業界づき合いをしなかった岩佐が、唯一交友を持っていた作家の古谷悠と担当編集者の仲本美知は、それを「未発表原稿」と推測し、原稿捜索に乗り出す。しかしその先に待ち構えていたものは、出版業界を揺るがしかねない「パンドラの箱」だった…。出版業界を舞台に、「創作者」最大の倫理を問う問題作 |

| | | |
|---------------------|------------------------|--|
| <p>コロナ狂騒録</p> | <p>海堂 尊</p> | <p>あれから1年。浪速では医療が崩壊し、東京には聖火がやってきたワークチンをめぐる厚生労働省技官・白鳥の奔走。そして、ついに東城大学医学部付属病院で院内クラスターが……。田口医師はこの難局をどう乗り越えるか!? 混迷を極める日本の2020-2021を描き尽くす、最新コロナウイルス小説! 『コロナ黙示録』に続く、現代ニッポンの“その後”。累計1000万部突破『チーム・バチスタの栄光』シリーズ、書き下ろし最新作</p> |
| <p>かっこいいなしょうぼうし</p> | <p>横浜市消防局 山崎友也</p> | <p>火事の現場で活躍する消防士ですが、火事のないときは何をしていますのしょう。人々の暮らしを守るためには、日ごろの準備こそが大切なのです。本書では、火災時の消火活動の様子を紹介するとともに、訓練や点検整備など消防署内での仕事を一日の時間を追って見ていきます。社会に目が向き防災の意識も高まる写真絵本です。</p> |
| <p>さくらもちのさくらこさん</p> | <p>岡田よしたか</p> | <p>さくらもちのさくらこさんは、ごきげんななめ。「たのしいこと、なーんもないわ。こんな葉っぱの服も、もういらーん!」と脱いで、ふてくされて原っぱで寝ていると、やさしい風が吹いてきて…。ナンセンスたべもの絵本。</p> |

【お知らせ】

新しい雑誌を配架しました!

■一般書

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」

■「ESSE」

■児童書

